

旭川市雪対策基本計画見直しの方向性

施策の展開		主な取組の課題	検討事項	検討内容	見直しの方向性	ページ
<p>■安定した除排雪体制の確保</p> <p>■効率的かつ効果的な車道除雪の推進</p> <p>■雪処理施設の確保</p>	<p>■快適な冬期道路ネットワークの確保</p>	(1) 企業の除雪事業への参入意欲の促進 ⇒除雪企業の体力低下への対応	資料3-1 地区統合の拡大	除排雪体制の維持や複数年契約導入の不安を軽減することに繋げるため、R2の地区統合試行を検証し、更なる地区統合を目指していく。	統合地区の拡大に向けて検討を進めていく	30 82
		(2) 除雪企業への除雪車両の貸与 ⇒除雪企業が所有する除雪車両の老朽化	資料3-2 貸与車両の増車	除雪企業からは新たな車両の貸与を求める声が強くなり、除雪車両等更新計画完了後も除雪企業が必要とする車両の増車が必要ではないか。	除雪企業が必要とする車両を増車していく	31
		(3) 除雪管理基準の設定 ⇒ザクザク路面発生頻度の増加	資料3-3 圧雪管理基準の見直し (除雪出動基準の見直し)	圧雪管理を見直し、幹線道路並みに通行しやすい路面にするためには、道幅が狭い・雪山が高いなど我慢することも必要となるが、車両スタックの解消と幅員や見通しの確保と何を優先すべきか。	効率性・経済性・費用対効果も含めて検討していく	40 42
		(4) 交差点における雪処理の強化 ⇒渋滞の発生や見通しの悪化	資料3-4 新たな交差点の雪処理手法	交通渋滞の原因には、道幅が狭いばかりでなく、右左折がスムーズに行えないことも影響するが、現状の体制では様々な課題があるものの、更なる交差点の雪処理の強化が必要か。	優先度を定め交差点の雪処理を強化していく 地域住民によるパトロールと連携して実施していく	48
		(6) 除雪センターの強化 ⇒要望対応に追われ本来業務に支障 ⇒要望受付時の誤認	資料3-5 要望処理体制の強化	地域特有の案件に柔軟に対応できるか不安要素もあるが、除雪センターの負担を軽減し除排雪作業に専念するため、また、要望処理対応の正確性を向上するためには、どのような体制が必要か。	苦情窓口の一元化や地域住民との連携も含め試行しながら検討していく 試行的に通話記録を視野に入れ検討していく	50
		(1) 雪処理施設の配置計画の策定 ⇒雪処理量750万㎡を超える年あり ⇒配置が偏り地区内での雪処理が困難	資料3-6 雪処理施設配置計画の見直し	近年の気象状況の変化により雪処理量は不安定で、令和2年度は794万㎡に達するが、750万㎡を超える年は少ない。民間雪堆積場は、市民の利用も問合せも増加傾向にあるが、地域の理解を得られず配置が難しい状況にある。雪処理確保量750万㎡や雪処理施設配置計画を見直すか。	現行の雪処理確保量750万㎡を維持していく 地域の中に雪堆積場を確保していくなど見直しを進めていく	63 64
		(6) 宅地内の雪処理施設の普及 ⇒安定した財源の確保と効果的な周知	資料3-7 敷地内の雪置き場確保と融雪施設設置	市民ニーズに応えるため安定した財源確保と効果的な周知が重要だが、建築時の雪置き場や融雪施設の設置の普及促進に向け、どのような取組が必要か。	事業の予算確保と現行制度のより効果的な周知を進めていく 雪置き場や融雪施設の設置を促進する取組について検討していく	71 114
		(2) 地域除雪活動への支援制度の充実 ⇒地域除雪活動の実施団体数は低迷	資料3-8 支援制度の充実とパートナーシップ	市民ニーズに応えた制度の拡充は必要ではあるが、パートナーシップのように新たに地域負担が発生することは、市民の理解を得ることが困難である。現行制度の見直しや拡充、新たな制度の導入は必要か。	パートナーシップの視点を取り入れながら現行制度の見直しや拡充を行っていく	86
		(3) 警察と連携した道路への雪出しや路上駐車のパトロールによる指導 ⇒悪質なマナー違反者への対応	資料3-9 警察と連携したパトロールの強化と条例の必要性	除雪マナーの啓発は、地域除雪活動の活動のほか、悪質な場合は警察に通報するなど連携を図っているが、取締や検挙などは難しい状況にある。既存の取組の強化や新たな取組、条例化など必要か。	パトロールの強化を検討していく 条例化は懸案事項として検討していく	94
		(2) 自助・共助の機能強化 ⇒担い手不足や担い手の高齢化	資料3-10 自助・共助の取組の連携	地域除雪活動は担い手不足に加え高齢化が進んでおり、機能を維持するためには、地域ぐるみの取組の更なる強化のほか、個別の取組の連携や統合が必要か。	自助・共助の仕組みや団体の連携を担う組織について検討していく	105 106
(1) 除雪弱者への支援制度の推進 ⇒住宅前道路除雪の協力町内会の拡大 ⇒小型除雪機等貸出制度の利用低迷	資料3-11 支援制度の拡充と利用促進	地域住民による住宅前道路除雪は、対象世帯の理解と協力町内会等の拡大のための周知が必要だが、どのように広めていくか。小型除雪機等の貸出は利用拡大に向け、どのように見直ししていくか。	住宅前道路除雪の協力町内会の一層の参加拡大に向け周知していく 貸出制度の利用促進について検討していく	108 110		
<p>■市民協働の推進と除雪マナーの向上</p>	<p>■除雪弱者への支援</p>					